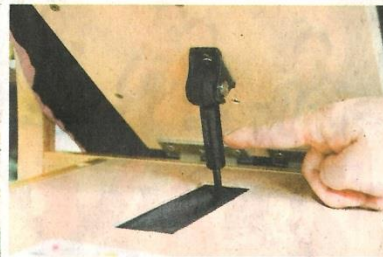


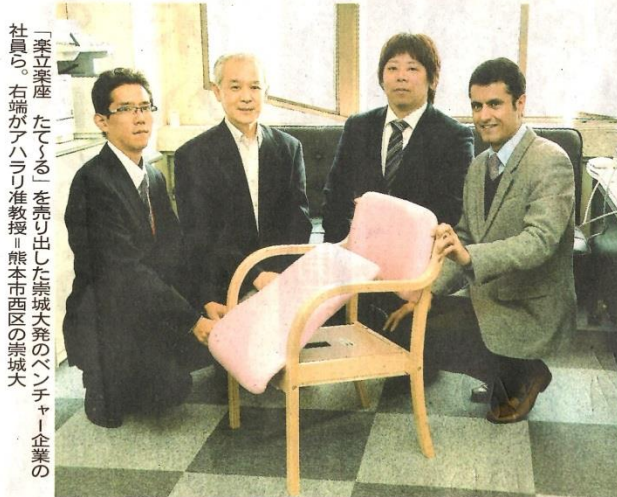
楽～に立てる椅子いかが？

座面が斜めになってお尻を押し上げ、楽に立ち上がれるようにした補助機能付きの椅子を、熊本市のベンチャー企業が開発した。既に介護施設や個人などに約50台を販売している。

崇城大准教授ら開発



椅子の座面を動かすガスシリンダー（ドイツ製）。この下部にバネが2本入っている



「楽立楽座 たてくる」を売り出した崇城大発のベンチャー企業の社員ら。右端がアハラリ准教授。熊本市西区の崇城大

商品名は「楽立楽座 たてくる」。崇城大情報学部のアハラリ・アリザ准教授（39）が2013年に設立した株式会社「フュージョンテック」が開発した。座った位置から立ち上がる際に、座面がばねとガスシリンダーの力で斜めに持ち上がり、腰を上げるのを助

特許出願中 動く座面、お尻押し上げ

ける仕組み。一気に跳ね上がるのではなく2段階でゆっくり動き、強度もダイヤルで調節できる。足や手の力の弱い人でも立ち上がりやすく、体重30～90キロまで対応。座面の傾きを戻して固定でき、普通の椅子としても使える。商標登録し、特許を出願中という。

高齢者から座り立ちを補助する器具がほしいと言われたのをヒントに、約1年前に開発を始めた。近くの介護施設に試作品を使ってもらい、3度改良を加えた。福岡県大川市の障がい者就労継続支援事業所に製造を委託し、2月下旬から販売している。

アハラリ准教授は「私たち研究者の技術を社会のために役立てたかった。電動ではないため、どこでも使える。介助者も楽になると思ふ」と話している。

5月31日まで特別価格の3万9800円で販売する。以降は通常販売価格の5万7780円。送料別。同社☎096（342）4449。（宮崎あず）